首都圏移住の20〜30代の8割「地元に愛着」　民間調査

#東京 #神奈川 #千葉

2023/3/23 18:53

ふるさと納税の寄付仲介サイトを運営するトラストバンク（東京・渋谷）は1都3県（東京、神奈川、千葉、埼玉）に移住した地方出身の20、30代の8割に地元に愛着があるとの調査結果を発表した。半数超が地元貢献に関心を持っており、全体の2割がふるさと納税制度を活用して地元に寄付したことがあるとした。

調査はインターネットで3〜6日に実施し916人が回答した。将来地元やその周辺に帰る意向があるかの質問には4割弱が肯定的な回答をし、理由（複数回答可）では「愛着がある」が58.5%と最も高く、「頼れる人がいる」（39.1%）、「ワークライフバランスを保つため」（16.9%）が続いた。

地元へのふるさと納税は若いほど高くなる傾向があり、20代前半では9割がしたい（したことがある）と答えた。同社の広報担当者は「若い世代ほど学校の授業などでふるさと納税を学ぶ機会があり、関心が高まっている」とした。